

1 受賞団体・個人の名称

ゆうげんがいしゃ おおまきのうじょう

有限会社 大牧農場(北海道音更町)

(問い合わせ先)

電話:0155-44-2647

(経歴)

平成9年、近隣農家3戸が共同で有限会社大牧農場を設立。減化学農業・減化学肥料の作物生産に取り組み、消費者へ安心・安全・おいしい農作物を届けると共に、農業による環境負荷低減にも熱心に取り組み、次世代まで継続できる農業を目指して営農を行っている。

(受賞時の経営内容)

馬鈴しょ 70.0ha、大豆 37.7ha、小豆 19ha 他



2 生産面の取組

①土づくり

- ・地域の土壌環境に適した排水工法により、圃場の大規模化、永続的な排水性改善を叶えた。
- ・自家堆肥センターで製造した堆肥を全ての圃場で投入しており、肥沃化、土壌物性の改善に役立っている。



②減化学肥料・減化学農業

- ・全圃場で毎年土壌診断を自社で行っている。その結果を基に、圃場ごとに単肥を自家配合して施用、必要な成分を必要なだけ与える適正施肥を行う。
- ・防除内容はグループ全体で行う栽培会議で決定し、できる限り使用回数を削減。特に除草剤は機械除草、手取り除草などの代替手段により、一部の圃場では全く不使用で栽培している。

③新たな技術の導入

- ・カルシウム、マグネシウムなどのミネラルを含む資材をほ場に投入して作物の栄養価向上を図り、その結果を帯広畜産大学と共同で研究している。現在も栽培法を改良中である。
- ・自然エネルギーの有効利用として平成16年から、馬鈴しょの雪室貯蔵を導入、消費電力を大幅に削減した。
- ・馬鈴しょの出荷時にプラスチック製のコンテナ(通い箱)を使用、年間13万箱の段ボール使用量を削減した。

3 経営面の取組

- ・環境保全型農業の取組と経済性の両立のため、減化学農業・減化学肥料の農作物を専門に取り扱っている業者へ生産物を提供している。
- ・消費者が安心して購入することができるよう、トレーサビリティを徹底している。生産履歴は圃場ごとに作成・保管し、いつでも情報を開示することができる体制になっている。
- ・消費者がどのような商品を求めているか把握するために消費者・生産者交流イベントに積極的に参加し、意見交換を行っている。

4 取組の成果

- ・「安心・安全・おいしい」「生産者の顔が見える農産物」など、環境保全型農業への取組アピールにより、安全な食品を求める消費者から安定した需要を獲得した。
- ・取引先のプライベートブランド加工食品の原料として採用され、「大牧農場シリーズ」として商品が展開されている。



5 地域社会への貢献

①消費者等との交流

- ・地元企業や地元農協と共同でグリーンツーリズムや農業体験などのイベントを開催しており、地域ぐるみでの生産者・消費者交流に貢献している。

②耕畜連携による地域内での炭素循環

- ・近隣の畜産農家との間で麦稈・牛糞の交換を行っており、麦稈は牛床の敷料として、牛糞は自家堆肥センターで発酵させ堆肥として再利用することで炭素の循環・貯留を促進、二酸化炭素の発生を抑制すると共に、廃棄物の処理に伴うコストを削減している。



③東日本大震災への取組

- ・震災発生後、5トン以上の馬鈴しょと見舞金を取引先を通じて被災地へ提供している。また、2012年11月に福島で開催された青年農業者交流会を中心となって実施するなど、各種支援イベントに積極的に参加しており、今後も継続して支援していく予定。